

千葉智寿

17才の頃、黒人ブルースのハーモニカプレイヤー「リトル・ウォルター」のアルバムに衝撃を受け、ブルースハープ（10穴ハーモニカ）を始める。

'97年、1stソロアルバム「マイ・オールド・メモリーズ」、「02年、2ndソロアルバム「ノーザン・コンフォート」、「10年、3rdソロアルバム「フットステップス」をリリース。

'88年F.I.H.日本ハーモニカコンテスト・ブルースハープ部門第1位、「90年日本ハーモニカ賞受賞、「91年イタリア「トリノ国際映画祭」審査員特別賞受賞作「ただひとたびの人」に出演および演奏、「95年F.I.H.ワールドハーモニカチャンピオンシップス第6位。

'12年より北海道ハーモニカ連盟会長

P E T A (ペータ)

13歳の時にギターを弾き始める。

カナダのシンガーソングライター、ブルース・コバーンに大きな影響をうけ、19歳の頃より10年程札幌のライブハウスで活動後、拠点を東京に移し活動。「02年からは拠点を再び札幌に移し、札幌から全国各地へ精力的に活動を展開中。

「13年、8枚目のアルバムとなる「心の言葉」をリリース。

佐藤洋一

1987年ドイツ・アーヘン音楽大学ギター科を卒業。帰国後は独奏やアンサンブルなどの演奏活動の他、レッスンなどの後進の指導にもあたる。さらに、人形劇やミュージカルの作曲、音楽制作にもたずさわる。

近藤文子

クラシックバレエの基本を軸に独自の身体表現を模索中。

ギャラリーと多目的ホールを兼ね備えたリーフレットミューズを主催。

<http://www.leaflet-muse.com/>

札幌を中心に活動するクラシック・レリーナの近藤文子とクラシック・リストの佐藤洋一
クラシックギターの演奏に乗せて表現されるクラシックバレエの舞台芸術。
札幌時計台まつりコンサート、藻岩の日コンサート、モエレ沼クリスマスコンサート等に出演。
幼稚園などへ訪問し積極的に踊りと音楽の普及活動にも力を注ぐ。
自主企画コンサートもこれまで計6回開催。
朗読やマンドリンなどのコラボレーションも意欲的に取り組む。

今年度のアートパフォーマンスin赤れんがのご案内（予定）

9 / 7 (土) 午後 黒岩真美と仲間達（クラリネット4重奏+ホン）、歌劇弾（バリトン、ソoprano）
11 / 9 (土) 午後 櫻井匡（トランペット）、un Son de la Lumiere（フルート、パーカッション）
12 / 21 (土) 午後 MIZUHU（ジャズホーフ）、蛇池雅人（サックス）